

経済・金融
フラッシュユーロ圏失業率(2023年12月)
—失業率は最低値の6.4%を維持

経済研究部 主任研究員 高山 武士

TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

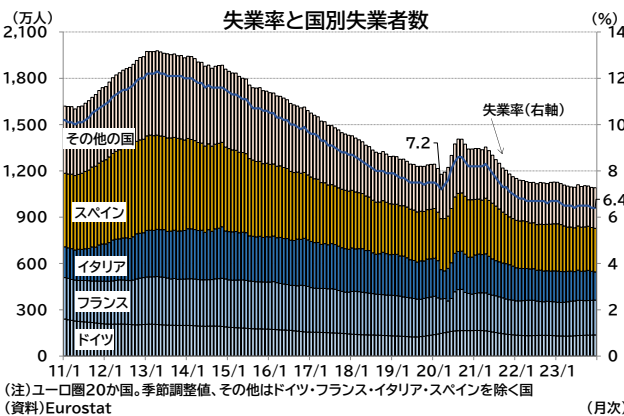
1. 結果の概要:失業率は6.4%を維持

2月1日、欧州委員会統計局(Eurostat)はユーロ圏の失業率を公表し、結果は以下の通りとなった。

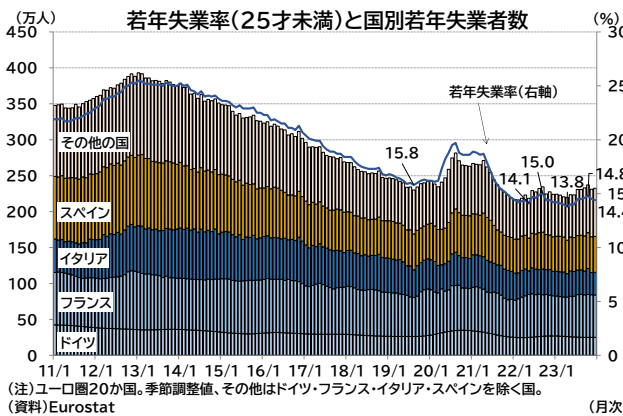
【ユーロ圏失業率(20か国、2023年12月、季節調整値)】

- ・失業率は6.4%、市場予想¹(6.4%)と一致、前月(6.4%)から横ばいだった(図表1)
- ・失業者は1090.9万人となり、前月(1092.6万人)から1.7万人減少した

(図表1)



(図表2)



2. 結果の詳細:失業率は最低値での推移、若年失業率もさらに低下

ユーロ圏(20か国)の12月の失業率は6.4%で、統計データ公表以来の最低値を記録した11月(6.4%)から横ばいで推移した。また、過去データの改定もほとんどなかった。

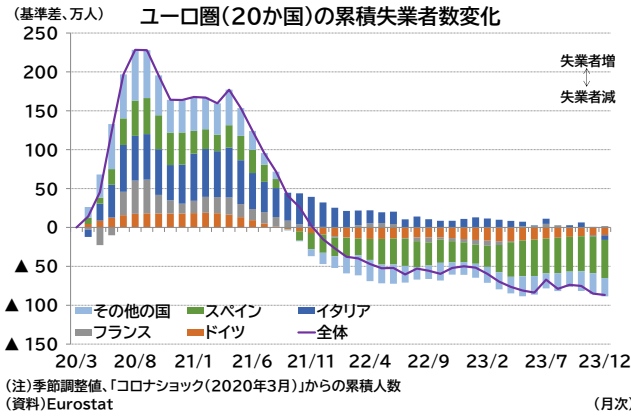
失業者数は12月の前月差で1.7万人減となり、3か月連続で減少したことになる(図表3・4)。主要4か国では、ドイツ(+0.5万人)、フランス(+1.1万人)が増加、イタリア(▲5.1万人)、スペイン(▲1.7万人)は減少した。

12月の若年失業率は14.4%で、11月(14.5%)から減少した。また、若年失業率についても過去データはほとんど改定されなかった。若年失業率は4月(13.8%)をボトムに傾向としては上昇傾向であるが、直近のピークは10月の14.8%であり、11月、12月と2か月連続で改善、上昇ペースはかなり緩やかになっている(前掲図表2)。

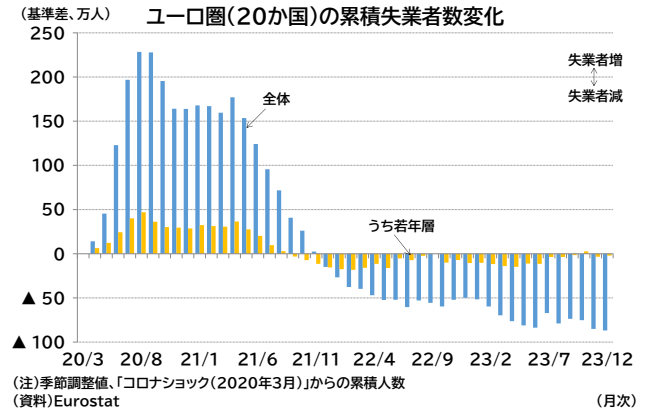
¹ bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

若年失業者数は12月で232.5万人（前月差1.3万人）となり、11月は前月比で減少したが、12月は再び増加に転じている。ただし、コロナショック直前の水準（20年3月の234.6万人）は依然としてやや下回っている（図表4）。

（図表3）

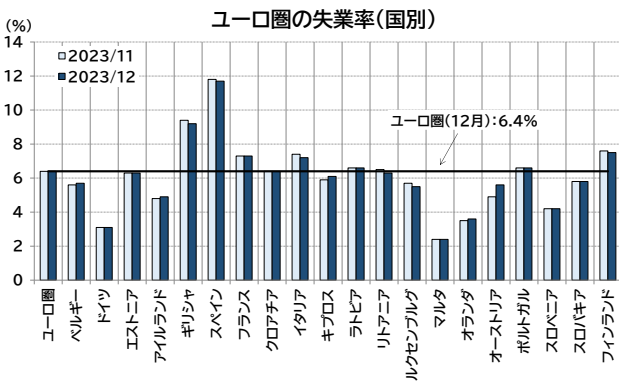


（図表4）

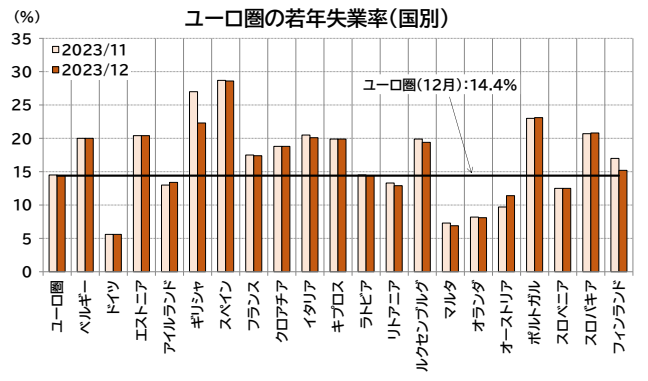


国別の12月のデータを見ると、失業率は20か国中、悪化した国が5か国、改善が6か国、横ばいが9か国だった（図表5）。また、若年失業率はデータが20か国中、悪化した国が4か国、改善が10か国、横ばいが6か国だった（図表6）。

（図表5）

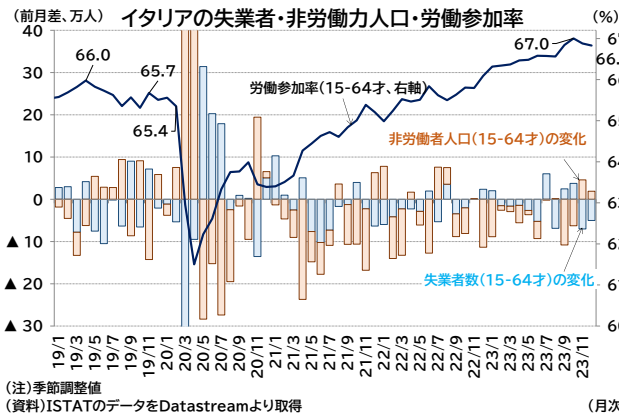


（図表6）

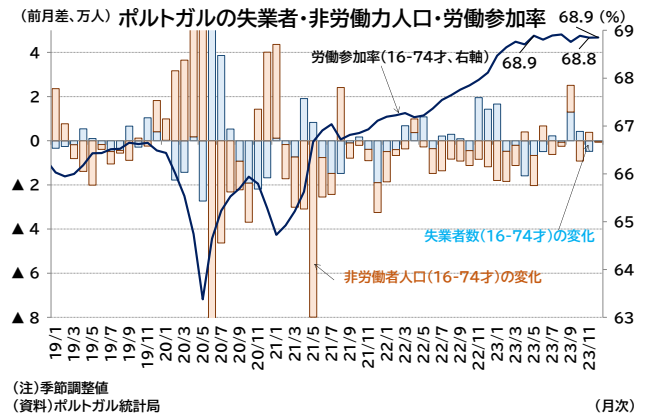


最後に詳細な月次データを公表しているイタリアとポルトガルについて確認すると、イタリアは失業者が減少し、就業者と非労働力人口が増加した（図表7）。一方、ポルトガルは失業者と非労働力人口がいずれも微減、就業者が微増という形だった（図表8）。いずれの国も労働参加率はコロナ禍後のピーク付近の高い水準を維持している。

（図表7）



（図表8）



（お願い）本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。